



カトリック長崎大司教区  
広報委員会  
〒852-8114  
長崎市橋口町 1-1  
長崎大司教館内  
Tel. 095-843-3869  
Fax 095-842-4460  
振替口座 01880-5-2699  
発行人  
山田 良 秋  
印刷所  
株式会社 インテックス

祈りの意向	
祈禱の 使徒	・教皇
・日本	聖フランシスコの霊性になり、 すべての被造物と私たちとの関 係が、互いに影響を及ぼし合っ ていることを体験できるように 高齢者のこれまでの労苦がねぎ らわれ、いただきたいのちを神 の恵みのうちに受け取ることが できるように

## 被爆80年、戦後80年 希望を携え平和への祈りを

### 多くの参列者と 教皇メッセージ

被爆80年、戦後80年を迎えた今年、長崎大司教区は8月9日(土)夕方、平和祈願祭を行った。今年のテーマは「バーチエー・バーチエー・Peace!」。平和を意味するイタリア語を含んだテーマは、教皇の意向に心を合わせ平和を求める叫びを表したものの。長崎原爆のこの日、国内外から集まった多くの人々が、18時浦上教会での平和祈願ミサと、ミサ後20時前に浦上教会を出発した爆心地公園までのたいまつ行列に参加し、特に聖年にあたって希望を携え、平和への祈りをささげた。



ミサは中村倫明大司教の主司式により行われ、米国からロバート・ウォルター・マッケロイ枢機卿(ワシントン教区)、ブレズ・スーピッチ枢機卿(シカゴ)、ジョン・C・ウェスター大司教(サンタフェ)、ポール・D・エチエン大司教(シアトル)の4人、また、前田万葉枢機卿(大阪高松)と高見三明名譽大司教、10人の司教(札幌、仙台、新潟、さいたま、名古屋、広島、福岡、大分、鹿児島、那覇)と司祭団約60人が共同司式をした。長崎3地区を中心とした教会の信徒と、米国からの巡礼団約50人、韓国如己の会関係者ら約20人、イスラエル・パレスチナ平和交渉の関係者ら約20人も合わせ、子どもから大人まで総勢約1200人が集まった。聖堂内の席が足りず、後方に立つ人々や、ミサの様子をライブ配信(右上のQRコード参照)で映し出された信徒会館会場で参加する人々もいた。



さらに、「世界のあちこちで緊張や争いが高まっている今、広島と長崎は『記憶のしるし』として、相手を破壊する力によって安全を保つという幻想を捨てて、わたしたちに語りかけているのです。その代わりに、わたしたちは、正義、きょうだい愛、そして共通善にもとづく世界の倫理をつくらなければなりません」と伝え、最後に「この厳粛な祈念の日が、国際社会に対して、全人類家族のための持続可能な平和―すなわち、『武器のない平和、武器を取り除く平和』―を追求する決意を新たにする呼びかけとなることを、わたしは心から祈ります」と結んだ。

### 説教と奉納

説教は中村倫明大司教が務めた。大司教は、1945年8月9日原子爆弾によって多くの命が失われたこと、崩壊した旧浦上天主堂の残骸の中から被爆マリア像と被爆十字架が見つかり、天主堂正面入口に掲げられていた十字架上のキリスト像が残ったことについて話した。手足も目も失ったキリスト像とマリア像がその姿をもって私たちに伝えていることは何か、「私たちの平和は、私たちがどのように私たちの手を使っていくのかにかかっています。私たちがどのように歩むのか、私たちのこの足に、そして、私たちの考え方や眺め方、生き方にかかっています」と語り、「キリストのように、考え、話し、行い、愛すること。今日も、私たちが愛するがゆえに、このような姿にまでなられた被爆のイエスさまを、被爆のマリアさまをしっかり眺めて、本来の私たちの歩

### 祈り続ける決意新たに

11時2分、浦上教会の鐘の音響く



原爆投下から80年の今年8月9日(土)、浦上教会では小教区主催の原爆犠牲者追悼ミサが、朝6時と11時に行われた。同教会は爆心地から約500メートルに位置し、1945年原爆投下によって約1万2千人の信徒のうち約8500人が亡くなったといわれる。原子爆弾がさく裂した時刻の11時2分、浦上教会双塔の鐘が鳴った。長崎市のサイレンも鳴り、聖堂内外で多くの人々が黙とうをささげた。ミサの説教師を務めた

山村憲一師(浦上教会主任)は、聖ヨハネ・パウロ2世教皇の言葉を導入し、長崎教区による徹夜の聖体礼拝と、聖エジディオ共同体によるニュー・ヨーク・ローマ・長崎をオンラインでつないだ聖体礼拝などで祈りがつながれていること、浦上の人々が四番崩れと原爆という2度の大きな苦しみ乗り越えることができたのは祈りによるものであったことに触れた。また、米国のカトリック信徒らから寄贈された鐘が、今年、空となっていた鐘楼につるされたことについて「神を信じているか

らこそ実現したことだと思ふ」と述べ、最後に「過去を振り返ることは将来に対する責任を担うことです(ヨハネ・パウロ2世)。この責任を担うために私たちも祈り続けるという決意を新たにいたしましう」と結んだ。浦上教会の双塔に大鐘と小鐘がそろう鐘の音を響かせるのは80年ぶりのことだった。この時間、教会下の天主公園では、小鐘の復元と寄贈に携わったジェームズ・ロウリー・ノーラン・ジュニアさんと浦上教会信徒の森内浩二郎さんが人々と一緒に鐘の音を聴く姿があった。

ミサ後、20時前に出発したいまつ行列は、被爆マリア像を先頭に、たいまつとペンライト(300本と1000本を準備)を手にした信者らが、浦上教会から爆心地公園までロザリオの祈りを唱えながら歩いた。約700メートルの道のりを平和を願う光の列が続き、公園到着後は人々が被爆マリア像の前で手を合わせたり、久しぶりに会った人々が声を掛け合ったりし、平和祈願祭を終えた。

近年になく多くの人々が集まった今年の平和祈願祭。参加者の1人は、「今回は中村大司教様から特

### 8月15日佐世保で 聖母平和祈願祭

佐世保地区では聖母被昇天の祭日である8月15日(金)、アルカスSASEBOを会場に聖母平和祈願祭が行われた。



「聖年、被爆80年 平和の祈り」の思いを新に「をテーマに掲げた今年の祈願祭には、子どもたちを含め約400人の参加者があり、聖体の前で、徹底的に祈りましう」との大司教の呼びかけに応え、ご聖体のイエスを通して皆でとも

### 人事異動・任命

▼教区(2025年7月22日付)

大水 文隆師 教区書記官(公証官)  
[教区本部事務局次長・大浦主任兼務]  
中野健一郎師 教区副書記官(公証官)  
[浦上助任兼務]

\*稲田伸也師(滑石助任)は、兼務していた教区書記官(公証官)の職務を離れる。

核なき世界基金  
被爆地からのチャレンジ  
みんなで  
いのちと地球を守ろう!  
<https://nuclear-free.net/>

ほしかげ

ここ数年、夏を迎える「何だか今年は、特別に暑いねえ」がお決まりの言葉となりつつあるが、ご多分に漏れずこの夏もやっぱり暑かった。しかも、いつもよりも早い時期から!▲不慣れさに連日の厳しい暑さも相まって心身が滅入りかけていたところ、以前お世話になった教会の子どもたち9名が夏休みを利用して訪ねてきてくれた。ちよつと合わない間にそれぞれが、より「知恵が増し、背丈も伸び、神と人へと愛される」(ルカ2・52参照)子どもへと成長している姿に、目を見張るとともに、何だか爽やかな風が吹き抜けたかのような清々しさを感じ、一時の清涼とともに心に元気が満ち満ちてくる気がした▲そのような気持ちに浸っていると、ふと、むかし見たある医療ドラマのセリフを思い出した。「俺たちが患者を生かしているんじゃない。患者が俺たちを生かしてくれているんだ」。ああ、そうか。普段、認知顔で立ち振る舞っていることの方が多い気がする。でも、実際はこうやって老若男女を問わず、関わり、交わり、氣にかけてくださる人たちによって、これまでも生かされてきたし、コロナ禍のときもそうだったし、今もなお生かされている。そして、これから生かされていくのである、ありがたいことだ。油断すると慢心してしまう心を省み、ひと夏の出来事であった。(豚)



長崎教区、浦上教会が関わった主な平和行事

2025年8月6日～10日

10日		9日		8日		6日
日		土		金		水
14時	10時20分 ～ 12時	18時	6時と 11時	16時30分 まで	8日20時 から9日 16時30分	8時 ～ 20時
長崎教区主催 ともに歩む平和の巡礼者の集い ／浦上教会		長崎教区主催 平和祈願祭・ミサとたいまつ行列 ／浦上教会、行列は爆心地公園まで		長崎県宗教者懇話会主催 第53回原爆殉難者慰霊祭／原爆落下中心地公園 長崎教区主催 聖体の永久礼拝 8日20時に聖体顕示式 9日16時に聖体賛美式 ／浦上教会		聖エジディオ共同体主催 広島・長崎原爆投下80周年追悼平和のための 祈り(長崎・ニューヨーク・ローマ) 6日から8日までの毎日8時～20時 ／浦上教会被爆マリア小聖堂

8月10日(日) 14時から浦上教会で「ともに歩む平和の巡礼者の集い」が行われ、日米の大学の教職員や学生、司教、司祭、修道者、信徒など約150人が集まった。

このシンポジウムは、長崎大司教区・平和推進委員会・青少年委員会の主催により、米国サンタフェ大司教区、シアトル大司教区、広島教区、長崎大司教区からなる「核兵器のない世界のためのパートナーシップ(PWNW)」に、日米のカトリック大学(フートルダム、ジョージタウン、ロヨラ、マルケット、上智、長崎純心)と、長崎にあるプロテスタント系大学(活水女子、鎮西学院、長崎外国語)が協力し行われたもの。原爆投下から80年の今年8月に向け、大学関係者らは準備を重ねてこの日を迎へ、会場に集まった人々と一緒に核なき世界と平和への道をともに考える時間を過ごした。



日米の人々

ともに歩む  
平和の巡礼者の集い

ア・ゴメス准教授(ニューヨークメキシコ大)、高見三明名誉大司教、浦上教会信徒の平野布左子さん、西村勇二さんがそれぞれ、原爆による被害と自身の思いを分かち合った。

休憩後は、日米の大学生が8月8日に実施した対話の報告と共同声明を発表。長崎教区の青年代表6人がまとめた活動報告もあり(写真1枚目)、最後に「私たち青年にできること」として、「平和のためにできることを考え、行動していく責任

2025年 長崎大司教区  
平和作文コンクール

各小教区や本紙8月号でご案内の通り、長崎教区は現在、「平和作文」作品を募集しています。ぜひご応募ください！

- 応募期間  
2025年7月20日(日)～10月26日(日) 必着
- 応募対象者  
長崎大司教区所属のカトリック信者の小学生、中学生、高校生。求道者も可。
- 作文のテーマ (以下は例)  
戦争と平和についての自分の決意／平和学習または平和についての教育で学んだこと／永井隆博士の本を読んで／原爆に関する動画やドキュメンタリーを見て／原爆経験者の話を聞いて
- 応募規格  
字数：400字詰め原稿用紙に縦書きで3枚以内。  
1行目に「題名」、2行目・3行目に「教会名、学年」「洗礼名、氏名(ふりがな)」を記入する。
- 提出先  
作文の提出は、個人ではなく各小教区で取りまとめて以下の住所にご提出ください。  
〒852-8114 長崎市橋口町1番1号 長崎大司教館 平和作文コンクール担当者 あて
- 審査・表彰  
小・中・高の各部門から最優秀賞1名、優秀賞2名を選定。  
最優秀賞(1名)：賞状、トロフィー、賞品  
優秀賞(2名)：賞状、賞品  
\*審査結果は本紙『カトリック教報』12月号で発表予定。受賞作品は本紙で連載する。
- 表彰式  
2025 聖年閉幕ミサの中で表彰式を行う。  
日時：2025年12月28日(日) 14時～  
場所：カトリック浦上教会

《コンクールに関する問い合わせ先》  
カトリック香焼教会 TEL 095-871-4349  
ダニエル金 桐旭師(教区シノダス文化担当)



7月27日(日) 14時30分から浦上教会で、長崎南山・純心女子高等学校演劇部と有志生徒による『永井隆物語』(脚本・亀尾佳宏)が上演され、集まった多くの人々が高校生が演じる劇を鑑賞した。長崎南山学園と純心女子学園が主催した。

「あの日から80年、日本は戦争をしていない。そしてこれからもそうあり続けるために…」(チラシ)。劇では、永井隆博士の生涯と信仰、家族の絆、人々との信頼ある交わりが表現され、終演後は舞台をつくり上げた高校生たちに来場者から大きな拍手がおくられた。

70代の女性は、「大変感動しました。私たちが子どもの頃は原爆についての勉強はほとんどなく、今こうやって高校生の若い皆さんが一生懸命やってくださっていて、とてもうれしいです。私の母は女子挺身隊で工場に行き皆勤だったそうですが、(原爆投下の)その日は、たまたまおばあちゃんが母に『今日はどうしても行かないでくれ』と、それで母は助かり私も生きています。信者ではありませんが、母は被爆した浦上天堂にいつも連れて来てくれました」と語った。

この劇は8月11日(月)にも長崎プリックホールにも上演された。

8月8日(金) 18時30分から原爆落下中心地公園で第53回原爆殉難者慰霊祭「被爆80年平和への祈り」が行われ、神道、仏教、キリスト教の信者ら、また一般市民らが集まり、世界平和を願ってともに祈った。長崎県宗教者懇話会主催。

慰霊祭にはカトリック教会からも、司教、司祭、修道者、信徒らが参加し、原爆落下中心地碑に向けて献花した。式典中の「平和の灯」では、NPO法人聖地のこどもを支える会『平和の架け橋プロジェクト』のため来日したイスラエルとパレスチナの青年代表らの姿も見られた。また「慰霊のこ

とば」では、最初に同懇話会副会長の中村倫明大司教が語り、最後に特別参加代表として米国シアトル大司教区のポール・D・エチエン大司教が次のように述べた。

「教皇フランシスコが2019年の長崎訪問で指摘されたように、『核兵器から解放された平和な世界。それは、あらゆる場所で、数え切れないほどの人が熱望していることです』。しかし、その夢はいまだ実現されていません。(中略) 私たちはここに、死者を追悼するためにいます。彼らの最も偉大な遺産は、現在の人々の心と意識の変革を導くパン種となることかもしれません。死者たちをたたえ、核兵器の脅威の下で生きる世界ではなく、新たな世界をつくりましょう」

長崎県宗教者懇話会は「長崎県内の宗教者をもつて構成し、会員の親睦、ならびに各宗教間の連絡調整を図り、宗教交流と平和運動への連帯を計ることを目的として設立」(同会ホームページ)された。現在、高見三明名誉大司教が会長を務めている。

あの日から80年――  
南山・純心 高校生演じる『永井隆物語』

7月27日(日) 14時30分から浦上教会で、長崎南山・純心女子高等学校演劇部と有志生徒による『永井隆物語』(脚本・亀尾佳宏)が上演され、集まった多くの人々が高校生が演じる劇を鑑賞した。長崎南山学園と純心女子学園が主催した。



慰霊祭にはカトリック教会からも、司教、司祭、修道者、信徒らが参加し、原爆落下中心地碑に向けて献花した。式典中の「平和の灯」では、NPO法人聖地のこどもを支える会『平和の架け橋プロジェクト』のため来日したイスラエルとパレスチナの青年代表らの姿も見られた。また「慰霊のこ

とば」では、最初に同懇話会副会長の中村倫明大司教が語り、最後に特別参加代表として米国シアトル大司教区のポール・D・エチエン大司教が次のように述べた。

「教皇フランシスコが2019年の長崎訪問で指摘されたように、『核兵器から解放された平和な世界。それは、あらゆる場所で、数え切れないほどの人が熱望していることです』。しかし、その夢はいまだ実現されていません。(中略) 私たちはここに、死者を追悼するためにいます。彼らの最も偉大な遺産は、現在の人々の心と意識の変革を導くパン種となることかもしれません。死者たちをたたえ、核兵器の脅威の下で生きる世界ではなく、新たな世界をつくりましょう」

を果たす」「核兵器のない世界のために祈り続ける」「身近な人や次の世代へ伝える」をあげた。また、5つの大学の学長や副学長が登壇し(写真2枚目)、平和構築について

の対話を行い、大学の役割などさまざまな視点から考えを語った。最後にサンタフェ大司教区のジョン・C・ウェスター大司教があいさつし、祈りをもって閉会した。

「あの日から80年、日本は戦争をしていない。そしてこれからもそうあり続けるために…」(チラシ)。劇では、永井隆博士の生涯と信仰、家族の絆、人々との信頼ある交わりが表現され、終演後は舞台をつくり上げた高校生たちに来場者から大きな拍手がおくられた。

長崎県宗教者懇話会が主催する「あの日から80年」のイベントは、長崎県内各地で開催されている。このイベントは、長崎県内各地で開催されている。

長崎県宗教者懇話会が主催する「あの日から80年」のイベントは、長崎県内各地で開催されている。このイベントは、長崎県内各地で開催されている。

長崎県宗教者懇話会が主催する「あの日から80年」のイベントは、長崎県内各地で開催されている。このイベントは、長崎県内各地で開催されている。

内科・循環器科  
医療法人 **平田クリニック**  
院長 ヨゼフ 平田哲也  
通所リハビリテーション  
上野町グループホーム・サービス付き高齢者住宅  
長崎市上野町1-5 TEL 095-845-6175

ハマチ・タイ養殖、アジ・イワシ加工、中型旋網  
**エテルナ・ワコー(株)**  
代表取締役 ドミニコ 溝口悦雄  
〒858-0926 佐世保市大湯町511番地3  
TEL(0956)47-4380

世界平和へ祈りを…  
**明治石材**  
長崎本店 長崎市長栄町13-1  
大村店 大村市赤佐古町287番地  
HP <http://meijisekizai.shopinfo.jp>  
業務内容  
お墓建立  
納骨堂販売  
お墓のリフォーム  
霊名彫刻  
電話 (095)846-3598  
電話 (0957)50-3008

注文家具の店 家庭祭壇・聖具・祭壇・長椅子・朗読台  
**佳織木工所**  
《家庭祭壇ギャラリーOPEN パンフレットもご紹介します。》  
〒857-0032 佐世保市宮田町7-7  
☎0956 (23) 1867 代表 ヨハネ 濱口 知博

主の平安  
カトリック式葬祭・飾付一式  
**(有) 栄光式典社**  
代表取締役 ヨハネ 西村 勇二  
長崎市辻町7-18 TEL(095)844-4011  
24時間営業 FAX(095)843-9896

ド・ロさま  
**らーめん**  
Nagasaki Spaghetti  
長崎スパゲッティ Since 1988  
株式会社サンフリースド・ロさま麺工場  
長崎市西出津町2528-1  
TEL(0959)23-0610  
FAX(0959)23-0611  
右記URLから  
ご注文できます



2025 年度

今年は 7 月に

## 教区評議会総会開催



50 周年を迎えている神言修道会を祝い、同修道会が司牧を担当する西町教会主任のヨセフ・ブルーノ・ダシオン師に花束が贈られた。また、教会の財産のことに触れ、「信徒の皆様が財産なんです。だからこそ、『おはよう』の一言でもいいので皆で声をかけ合ってください」と呼びかけた。

### 教区評議会役員

会長 中村倫明大司教  
副会長 山脇守(司教総代理・長崎南地区長)  
議長 川口哲朗(長崎北)  
副議長 森田優子(長崎中・萩原利男(佐世保・山岡千代子(長崎南)事務局長 葛嶋秀信(教区本部事務局長)  
事務局次長 大水文隆(教区本部事務局次長)  
書記 野口達人(長崎南・犬塚直幸(長崎南)

発表した。また、シノドス文化部のダニエル金桐旭師が「平和作文コンクール」(2 面参照)への応募を呼びかけた。休憩の後、永井隆博士の孫にあたる、永井徳三郎氏(長崎市永井隆記念館館長)による講演「如己愛人ー永井隆の平和の精神」が行われた。皆真剣に聴き入り、平和への思いを新たに。新役員は以下の通り。

聖年と被爆 80 年を迎えている中、7 月 21 日(月)中町教会を会場に 2025 年度教区評議会総会が開催され、約 120 人の各小教区・部門代表の信徒・修道者・司祭が集まった。例年 5 月 3 日に行われてきたが、今年は 7 月の開催。

## 岸辺に集い、主のために一つになって

信仰と喜びとともに

8 月 2 日(土)に伊王島の海水浴場コスタ・デル・ソルにおいて「岸



に集い、主のために一つになって」というテーマのもと、西坂・聖フィリッポ教会の英語ミサコミュニティの集いが催された。信仰を通して共同体のより深い友情と結束を育もうと初めて企画された聖年レクリエーションである。

教会で奉仕する信徒 24 人、そして、今田昌樹神父様(城山教会、聖アウグスチノ修道会)とアルベルト・マーフィ神父様



(本原教会、フランススコ会)がこの時間を一緒に過ごしてください。主催者が用意した 5 つのゲームをレッド、イエロー、ピンクの 3 チームに分かれて競い合い、結果はレッドチームの優勝。その後、音楽を奏で

たりしながら、持ち寄ったランチボックスを皆で分かち合っており、食事を楽しんだ。最後は今田神父様によるみことばの祭儀で集いを終えた。

8 月 2 日(土) 城山教会で第 18 回平和祈りを祈る音楽朗読会「マリアの丘から愛をこめてー戦後 80 年 平和への祈りを未来へつなぐー」が行われ、集まった人々が命の尊さを考え、感じる時間とともに過ごした。元 TBS アナウンサー今井登茂子氏が主宰する朗読グループ「水の会」の主催。

朗読。朗読は、16 歳で被爆し下半身不随となった渡辺千恵子さん作「長崎の鐘」の合唱、続いてながさき「水の会」による



仲間と手を携え、戦争の愚かさ平和の尊さを訴え続けた千恵子さんの思いが語られた。また、東京「水の会」による朗読では、「きけわだつみのこえ」(日本戦没学生記念会編)から、学徒動員された若者たちが両親や恋人、妻や妹、家族や同志に宛てた遺書、手紙などが朗読された。カウンターテナー村松稔之さんによる歌にも皆聴き入った。進行役を務めたながさき「水の会」代表の東島真奈美さん(城山教会信徒)は会の最後に「人と人がつながっていくこと、この時の大切さを感じています」と感謝を述べた。

## 教皇庁宣教事業 第 3 回「宣教川柳」募集中!

2025 年のテーマ「希望」  
応募期間 6 月 1 日～9 月 30 日  
\*詳細は教皇庁宣教事業ウェブサイトを確認ください。

力障連ながさきではこれからの折々に、どなたでも参加いただける集いの場を設ける予定です。また教会における障害についてのアンケートも準備



りを集いを開きました。まず、けがれなき聖母の騎士聖フランシスコ修道女会のシスター西村和子氏(みさかえの園理事)に講話をいただき、コルベ神父の神に希望をおいた生涯や、霊的な面においては、すべての人が何の障害もない神の似姿であることについて黙想しました。

それからロザリオとテゼの歌でお祈りをささげ、さまざまな障害を持つ方へ家族の心を寄せてください。方々ともともに、キリストの平和をあじわう素晴らしいひとときを過ごしました。

備を進めていますので、配布の際にはどんな小さな声でもお寄せいただければ幸いです。

障害があるからこそ、そこに現される神様のいたつくしみ深いはたらきを信じて、ともに歩んでいきたいと思っています。

事務局 西川英恵

## 祈りのつどい「キリストの平和と希望」

カトリック障害者連絡協議会ながさき「カ障連ながさき」(藤本善一会长)は、8 月 3 日(日)浦上教会被爆マリア小聖堂において、今年 4 月の設立から初めてとなる祈

「バチカンで上映決定」今夏全国公開の映画『長崎ー閃光の影でー』(松本准平監督)がバチカンで上映されることがこのほど決定した。上映は 10 月 31 日(現地時間)。

### 感謝

ー 香典返しー

長崎カトリック神学院  
山口哲浩様(滑石)  
故ベトロ山口信義様  
右の方からご寄付・ご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

今年、戦後 80 年に当たり、現在の政治社会状況を目の当たりにして、司教団としてあらためて平和メッセージを出す必要があると考え、準備を重ねてきたが、本総会において戦後 80 年司教団メッセージ「平和を紡ぐ旅ー希望を携えてー」を承認した。

主な報告事項  
▼叙階 5 年前後の司祭を中心に国内での司祭生涯養成プログラム A を 2027 年に、叙階後 15、20 年の司祭を対象に海外での司祭生涯養成プログラム B を 2029 年に実施する予定。

▼シノドス(世界代表司教会議) 第 16 回総会を受

## 2025 年度 定例司教総会 各種委員会担当の改選と戦後 80 年メッセージ承認

日本カトリック司教協議会

また、「日本カトリック司教団核兵器廃絶宣言 2025」を承認した。司教協議会として「核兵器廃絶」についての見解を公表していなかったことから、戦後 80 年の今年、その態度を表明すること

▼日本カトリック司教協議会各種委員会委員長・担当司教を左表の通り改選した。

### 主な審議事項

▼FABC(アジア司教協議会連盟) 第 12 回総会代表参加者として成井大介司教、エドガル・ガクタン司教を選出した。また、補充候補者として森山信三司教を選出した。

▼本総会での諸意見を加味して修正したカトリック儀式書『ミサ以外のと

司教団としてあらためて平和メッセージを出す必要があると考え、準備を重ねてきたが、本総会において戦後 80 年司教団メッセージ「平和を紡ぐ旅ー希望を携えてー」を承認した。

▼叙階 5 年前後の司祭を中心に国内での司祭生涯養成プログラム A を 2027 年に、叙階後 15、20 年の司祭を対象に海外での司祭生涯養成プログラム B を 2029 年に実施する予定。

▼シノドス(世界代表司教会議) 第 16 回総会を受

省に提出する予定。

## 日本カトリック司教協議会 各種委員会委員長・担当司教

常任司教委員会直轄委員会関連  
財務委員会 委員長 梅村昌弘司教  
教会行政法制委員会 委員長 梅村昌弘司教  
司教修道者合同委員会 担当 菊地功枢機卿、前田万葉枢機卿、中村倫明大司教  
未成年者等ガイドライン運用促進委員会 委員長 菊地功枢機卿 担当司教 ヨセフ・アベイヤ司教、成井大介司教  
司祭・終身助祭生涯養成委員会 委員長 エドガル・ガクタン司教 担当司教 アンドレア・レンボ司教  
用語検討特別委員会 委員長 梅村昌弘司教  
日韓司教交流会 中村倫明大司教、勝谷太治司教(窓口)、酒井俊弘司教

福音宣教司教委員会関連  
福音宣教司教委員会 委員長 中村倫明大司教  
福音宣教委員会 委員長 中村倫明大司教  
\*ラウダート・シ部門 担当司教 成井大介司教  
\*青少年司牧部門 担当司教 アンドレア・レンボ司教  
\*外国籍信徒司牧部門 担当司教 山野内倫昭司教

\*聖書教理部門 担当司教 前田万葉枢機卿  
典礼委員会 委員長 白浜満司教  
学校教育委員会 委員長 中野裕明司教  
列聖聖進委員会 委員長 大塚喜直司教  
エキュメニズム・諸宗教委員会 委員長 中村倫明大司教  
社会司教委員会関連  
社会司教委員会 委員長 森山信三司教  
正義と平和協議会 エドガル・ガクタン司教  
部落差別人権委員会 委員長 ウェイン・パートン司教  
難民移住移動者委員会 委員長 松浦信郎司教  
子どもと女性の権利擁護部門 担当司教 森山信三司教  
HIV/AIDS 部門 担当司教 森山信三司教

広報宣教司教委員会関連  
広報宣教司教委員会 委員長 勝谷太治司教  
広報委員会 委員長 勝谷太治司教 担当司教 酒井俊弘司教

事業体  
カリタスジャパン 責任司教 成井大介司教 担当司教 森山信三司教



## 教会の夏、各地区で小中学生集う

7月24、25、28日——下五島地区



小学生は「教皇について」をテーマに、初代教皇となる聖ペトロから現教皇のレオ14世までの歴史、教皇の役割やどのようなに選ばれるかなど、クイズ形式で楽しく学んだ。

下五島地区では7月24日(木)、25日(金)、28日(月)の各日、小学生・中学生を対象とした合同黙想会が福江教会で行われた。参加者は小学生計40人、中学生計25人だった。

7月28日——上五島地区



7月28日(月)9時から、上五島地区合同の小中学生黙想会が行われた。今年は小学生だけでなく中学生も合わせての黙想会となり、司祭やシスターを含めて120人ほどが集まった。



聖年にあたり、上五島地区にある4つの巡礼指定教会、その内の3つの

(上五島地区)

## 今年4月の子どもの集い 振り返り映像公開

地区長の中田輝次神父は感謝ミサの説教の中で、「それぞれに神様から与えられたたまものを平和へと生かしてほしい」と語り、黙想会を締めくくった。

(下五島地区)

今年4月2日(水)、教区信仰教育委員会と諸委員会は互いに協力して小中学生が参加する「子どもの集い」を実施した。この集いは2025聖年

8月6日——長崎3地区

8月6日(水)シーハットおおむらを会場に、長崎地区こどもスポーツ大会が行われた。種目はドッチビー。



大会には小中学生約250人、18チームが参加した。廣田学助祭はみことばの祭儀の説教で、感謝の気持ちを忘れずに、大会に心を尽くすよう勧めた。大会は全員の応援とたくさんの方々の支えによって無事に終わり、1位と2位は浦上教会、3位は滑石教会だった。その他のチームも実力を発揮し、肩を並べるような実力で盛り上がり、有意義な時間を過ごした。

大会実行委員長 ナム・シジン



を過ごすにあたって企画されたもので、当日は教区の全7地区41教会から小学生300人余と中学生80人余、またスタッフ

## 大司教館事務所 業務時間のご案内

《住所》カトリック長崎大司教館内  
〒852-8114 長崎市橋口町1番1号

【1階】

総合受付 日～土曜日 毎日08:00～18:00  
電話 095-843-4188 (代表)  
FAX 095-843-4322

法人事務所(会計事務室) 日曜日は休み  
祝祭日を含む月～土曜日 08:30～17:30  
電話 095-846-4248 FAX 095-848-8310

【2階】

教区本部事務局・諸委員会 土・祝日は休み  
日～金曜日 08:30～17:30  
電話 095-842-4450 FAX 095-842-4460

生涯養成委員会 日・月・祝日は休み  
火～土曜日 08:30～17:30  
電話 095-841-7731 FAX 095-842-4460

広報委員会 土・日・祝日は休み  
月～金曜日 08:30～17:30  
電話 095-843-3869 FAX 095-842-4460

(2025年4月から)

マリヤ  
竹山ウメ子修道女  
(お告げのマリア修道会)



7月5日逝去。97歳。  
1928年五島市生まれ。

れ。59年初誓願、67年終生誓願。  
13歳で当時の「小さき花の修女院」現在の三井楽修道院に入会。当初から司祭館奉仕に努め、神ノ島教会、福江教会、カトリックセリタ、三浦町教会などをめぐり、その生涯のほとんどを司祭のため

アグネス

水浦綾子修道女  
(純心聖母会)



7月9日逝去。93歳。  
東京で生まれ、神田教会で受洗。1957年初誓願、66年終生誓願。

初誓願後、東京、広島、長崎で幼児教諭・園長として園児、保護者、教会の信徒の方々との関わりの中で宣教に力を入れた。  
職務を終えた99年から、諫早修道院で院内の奉仕や教会のサクリスタ係として役割を果たした。2008年には八王子修道院に派遣、那須の黙想の家で奉仕に励んだ。歩行困難となり、16年からベタニア修道院で療養生活を送っていたが、介護度が高くなり養護老人ホームにお世話になった。  
6月末にロザリオの聖母修道院に戻り、7月9日に容態が急変し、急性心不全のため静かに御父のみもとに召された。

ダミアノ  
崎濱 宏美 神父  
(コンベンツアル  
聖フランシスコ修道会)



7月19日、胆のうがんのため長崎市の聖フランシスコ病院で逝去。84歳。  
1940年8月16日五島市生まれ。堂崎教会で受洗。64年終生誓願。67年3月16日大浦天主堂で司祭叙階。68年仁川学院

教諭(86年アメリカ留学、88年同小学校校長。その後も、聖母の騎士学園理事長、中学・高等学校校長、聖母の騎士幼稚園や東長崎幼稚園園長など歴任。今年4月から聖母の騎士学園理事長。2008年、16年にはけがれなき聖母日本管区管区長を務めた。長い期間にわたり、学校と幼稚園で奉仕。自然を愛し、人を引き付ける口調で豊かな体験談を語り、誰にでも親しみ深く接し、困難に

マリヤ・チェレスチナ  
小川 スミエ 修道女  
(純心聖母会)



8月7日逝去。94歳。  
大村市生まれ。1954年初誓願、63年終生誓願。初代会長シスター江角

が原爆で灰となった校舎の復興を誓い、原子野から大村の仮校舎に移転していた時、学生志願生として入会した。戦後の貧しさの中、40人ほどいた志願生たちとともに、シスターたちの苦勞と祈りの姿を見て、修道生活への憧れを深めたと述懐している。  
初誓願後、鹿児島、長

崎、東京の学園で教職に就き、志願生の養成にも携わった。教職を終ると石神井の黙想の家で奉仕、第三修練の養成担当など、どの仕事にも一筋だった。2005年から静養とともに修道院内で奉仕。思いやり深く優しい口調で語り、卒業生や関わる人々に慕われ手紙での宣教を続けていた。

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社  
西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 剛  
本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地  
TEL (0956) 31-8268

赤城墓地  
小家族様  
分譲中  
長崎石彫 岩永  
095-862-2469



カリス通信

9月号

カトリック現金盗難補償制度のご紹介  
正式名称: マネーフレンド運送保険特別約款付運送保険

「カトリック現金盗難補償制度」は、カトリック教会の皆様を、現金・小切手類の盗難リスク等からお守りします。「教会にカギが掛かっている時間に空き巣に入られた」「銀行に教会のお金を預けるために自転車走行中、現金が入ったカバンをひったくられた」など保管中・輸送中の事故に対して保険金をお支払いします。

＜カトリック現金盗難補償制度の特長＞

- (1) お申込み手続きが簡単  
輸送の都度、保険を手配する必要がありません。輸送・保管額が変動しても、支払限度額まで1年間補償します。
- (2) 支払限度額は保険金をお支払した後も削減されません。
- (3) 財産上の直接損害に加えて費用の損害についても保険金をお支払します。

※本ご案内は「カトリック現金盗難補償制度」の概要をご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である団体の代表者の方に御渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明の点がありましたらカリスまでお問い合わせください。

カトリック共済システム 株式会社 カリス 連絡先 ☎ 0120-77-0033  
〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館  
引受保険会社: 東京海上日動火災保険株式会社

＜保険の対象について＞

本制度で対象となる現金・小切手類は次のとおりです。(ただし、家計用の現金・小切手類は除きます。)  
現金(他人から預かった現金、および外国通貨を含みます)、小切手(作成前の小切手を除きます)、郵便切手、収入印紙、商品券・図書カード(図書券を含みます)、乗車券、入場券、クレジットカード売上伝票・金券およびクーポン券。 \*上記に列挙した以外のもの(手形、株券等の有価証券やプリペイドカード等)は含まれません。

「カトリック現金盗難補償制度」では、国内における「輸送中」および教会に「保管中」の現金・小切手類に盗難・滅失、その他偶然な事故が発生したことによって生じた損害を補償いたします。置忘れや紛失、「保管中」に生じた紛失や原因不明の数量不足等は補償の対象ではありません。現金・小切手類の価額を帳簿または書類に正確に記録いただくとともに、保険事故が発生した場合は、警察署・金融機関等へ届け出ください。詳しくはカリスにお問い合わせください。

私たちが、大澤阿紀子 大西 晃 毛利玲子  
お守りします。服部秀昭 川口 薫神父(顧問)



リスク・補償に関して  
お気軽に  
お問い合わせください